

2009年5月22日の日経産業新聞朝刊に、弊社のサービス記事が掲載されました。

米アチーブが日本でBPO、データ入力代行、中国江蘇省の専門拠点 活用価格1/3で提供

Tokyo, Japan. – May 22, 2009 - Achievo

米システム開発会社のアチーブは、日本でデータ入力代行などのBPO（業務委託）事業に参入する。中国江蘇省に日本で受託したBPOに専門で対応する拠点を整備し、割安なサービスを提供する。米国在住の華僑が設立したアチーブは中国のIT（情報技術）人材を使って日本企業からソフトウェア開発を受託してきたが、BPOに事業領域を広げる。

BPOサービスは「チャイナソーシング」と名付けた。アチーブ日本法人などで構成する「ジャパンビジネス事務グループ」が受注活動に入った。企業や学校の顧客情報入力、売掛金管理、給料計算などのアウトソーシングを受託する。

上海市近郊の江蘇省太倉市に日本からのBPOを専門に請け負う拠点を開き、まず約百人の要員を配置した。日本の会計基準や労働法を学ばせた上で、日本の顧客から送られてきたデータを加工し、送り返す業務に従事させる。

中国のITアウトソーシングの拠点として知られる北京、上海、大連などは人件費が上昇している。「太倉は人件費が割安なため、日本の同業者の三分の一の価格でサービスを提供できる」（同グループの李晨副総裁）としている。

アチーブは米国在住華僑の李本能・最高経営責任者（CEO）が二〇〇二年に設立。本社は米カリフォルニア州に置くが、中国にアウトソーシングの受託拠点を設けて事業展開してきた。日本向けを得意としており、従業員二千七百人のうち約半分が日本ビジネスに従事している。